

市町村名	金武町
------	-----

令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-① パークゴルフ場整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成29～令和2年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備
			Ⅲ-1-(1)

事業内容	金武町にパークゴルフ場を整備し、観光誘客と地域住民の福祉の向上を図る。
------	-------------------------------------

効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)
--------	---

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()
------	--

		H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R2年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額		171,115		190,842	
	(b) 予算現額		105,702		190,842	
	(c) 増減額(b-a)	0	▲ 65,413	0	0	0
	(d) 繰越額	98,938		66,929		
	A. 計(b+d)	98,938	105,702	66,929	190,842	0
	B. 執行済額	96,519	44,988	65,227	188,614	
	うち交付金充当額	77,215	25,990	46,159	129,408	
	次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)	97.6%	42.6%	97.5%	98.8%	#DIV/0!
予算の状況の説明	<p>○平成29年度に実施設計を完了した。 ○平成30年度にパークゴルフ場の造成工事(1工区、2工区)ともに完了した。 ○平成30年度(繰越)にパークゴルフ場整備工事(土工、法面工、排水工、植栽工)が完了した。 ○令和元年度に建築工事が完了した。</p>					

活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況			
		H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R2年度
造成等工事の実施	目標	()	()	()	()
	実績	/			
建築工事の実施	目標	()	(整備工事の実施)	(建築工事の実施)	()
	実績	/		整備工事の完了	建築工事の完了
達成状況説明	平成29年度に造成工事、平成30年度に整備工事(一部)、令和元年度に30年度繰越事業及び建築工事が完了した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度(繰越)	R1年度	R2年度	目標値(R2年度)
		目標	()	()	()	()
造成工事等の実施	実績	/				
	目標	()	(整備工事の完了)	(建築工事の完了)	()	()
建築工事の実施	実績	/		整備工事の完了	建築工事の完了	
	目標	()	()	()	○観光客の年間利用者数:15,046人 ○町民の年間利用者数:8,102人	
実績	/					

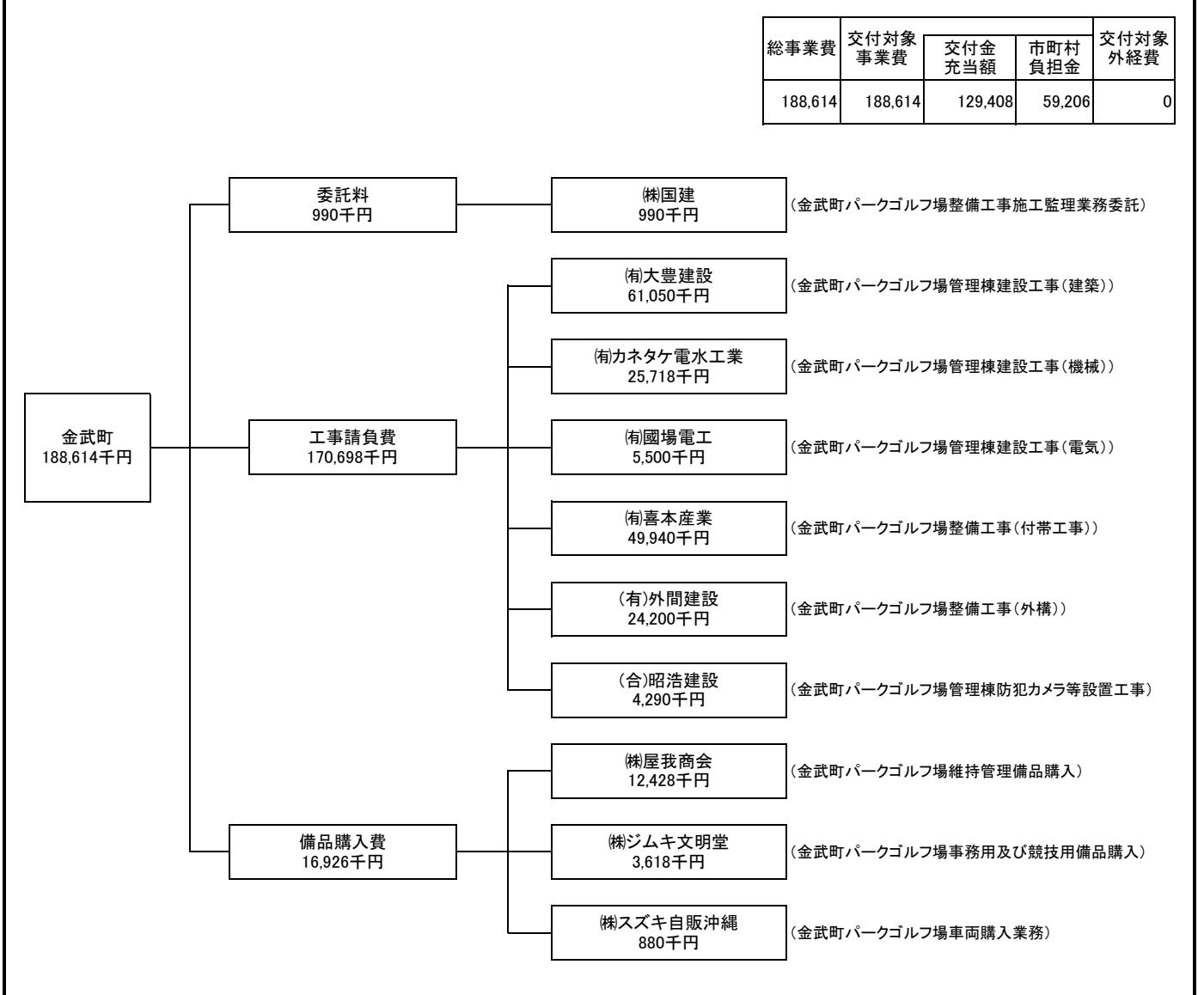
進捗状況説明	○令和元年度に予定していた建築工事を完了し、令和2年7月から供用開始を予定している。
--------	--

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	施設の完成により町外、県外からの入域観光客への新たな観光資源としての機能を果たすため、有効的かつ効果的な周知を図っていく必要がある。	他の施設と連携しながら利用者数の増加に努める。また、インターネットや県内の観光主要施設に告知用チラシを設置し周知に努める。

今後の取り組み方針

町外、県外への周知を図り、各種団体や他の施設と連携し利用者の増加に繋げていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の流れ、点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○施工監理、工事、備品購入の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

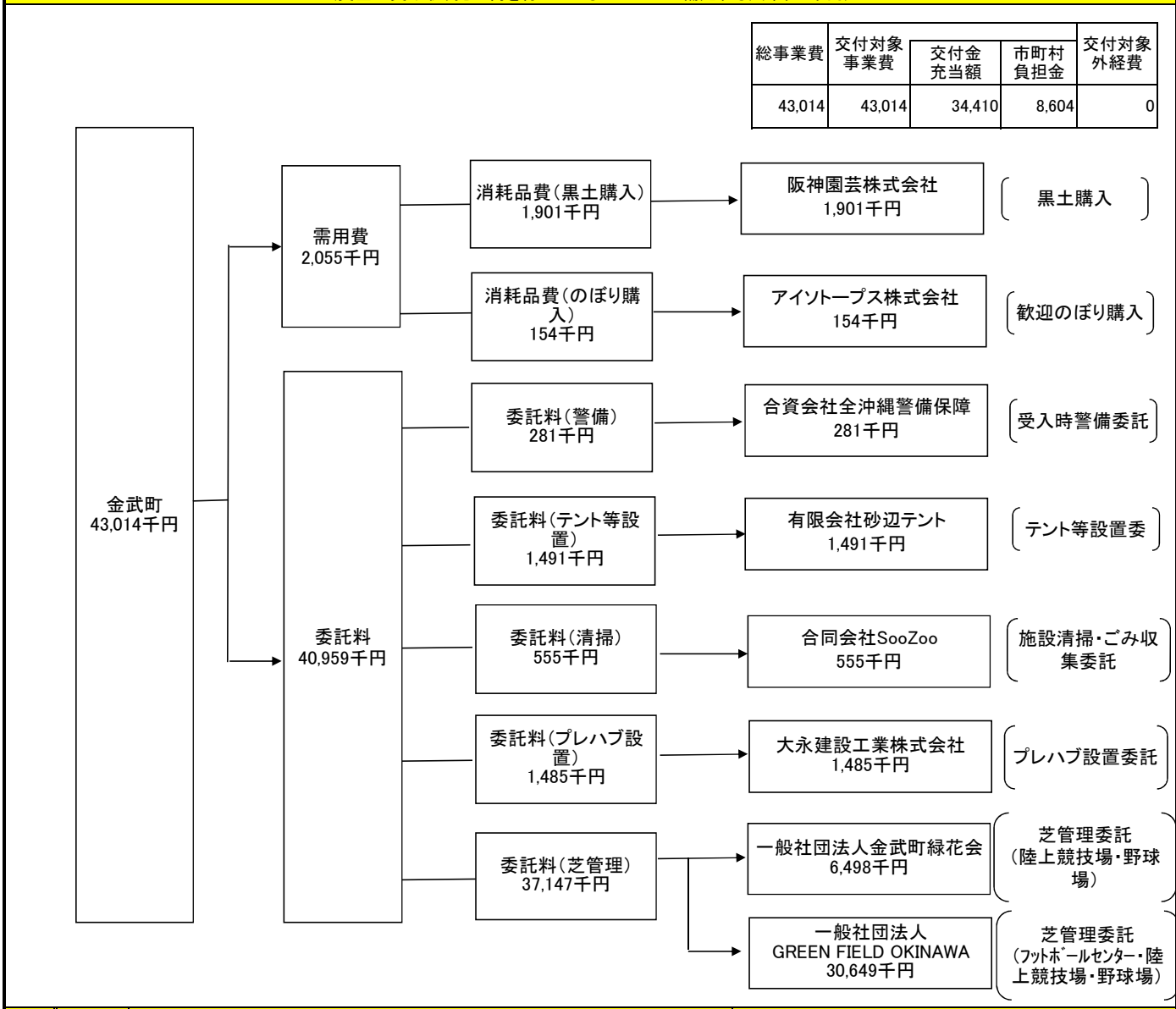
市町村名	金武町						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-② プロスポーツ受入事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第3章-3-(2)-ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立					
担当部課名	金武町教育委員会 社会教育課	事業実施(予定)年度 平成29～令和3年度 沖縄振興基本方針該当箇所 III-1-(1)					
事業内容	本町に整備された金武町ベースボールスタジアムや金武町フットボールセンター等を活用し、プロスポーツチームや社会人チームのキャンプ等の受入れを実施している。長期の受入れを目指すため、競技環境の整備や受入れ体制の強化を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		6,998	43,777	43,305	51,793	
			6,365	42,460	43,208	51,793	
			▲ 633	▲ 1,317	▲ 97	0	0
			—				
			6,365	42,460	43,208	51,793	0
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)		6,365	42,460	42,611	43,014	
			5,092	33,968	34,088	34,410	
			100.0%	100.0%	98.6%	83.0%	#DIV/0!
予算の状況の説明	プロチームを受入れるために必要な芝管理や黒土の補充によるグラウンド整備等の競技環境の整備、警備や清掃、テントの設置等の受入体制の強化を図った。また、不足する諸室を補うためのプレハブを設置した。令和元年度は野球場のグラウンド状況が良好で、キャンプ前の業者の整備を要しなかったため、執行率が低くなっている。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	競技環境の整備	目標	(4チーム)	(4チーム)	(4チーム)	()	
		実績	5チーム	5チーム	5チーム		
	プロスポーツ受入の実施	目標	(4チーム)	(4チーム)	(4チーム)	()	
		実績	5チーム	5チーム	5チーム		
	見学者受入体制の整備	目標	(4チーム)	(4チーム)	(4チーム)	()	
		実績	5チーム	5チーム	5チーム		
	プロスポーツキャンプ受入体制の構築	目標	(4チーム)	(4チーム)	(4チーム)	()	
		実績	5チーム	5チーム	5チーム		
スポーツ教室の開催	目標	(2回)	(2回)	(2回)	()		
	実績	4回	2回	2回			
達成状況説明	競技環境の整備や受入体制を強化することで、継続した3チームを受入れることができた。日韓関係の悪化から、例年受け入れているチームがキャンプを実施することができなかったが、競技環境の良好さもあり、サッカーでさらに2チームを受入れることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	R1年度プロチームキャンプの受入4チーム以上	目標	()	()	()	(4チーム)	()
		実績				5チーム	
	H30年度プロチーム4チームの受入	目標	()	(4チーム)	(4チーム)	()	()
		実績		5チーム	5チーム		
	【参考指標】アマチュアチーム合宿の受入	目標	()	(1件)	(1件)	()	()
		実績		4件	4件		
	【参考指標】大会受入3大会	目標	()	(3大会)	(3大会)	()	()
		実績		94大会	119大会		
進捗状況説明	当初目標にしていた平成29年度からの継続4チームのうち、外的環境の変化により1チームがキャンセルとなったが、プロを受け入れるための受入体制を整えることで、サッカー競技については新規2チームを受け入れることができた。また、年間を通して環境整備を図ることで、合宿や大会等での利用も大幅に増加していることや、プロ選手による自主トレーニングにも利用されるなど、事業の効果が得られていると考える。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	近年、受入チームの定着化が徐々に図られていと感じているところである。チームの本拠地のグラウンド状況の変化(チーム方針による土の固さやブルベンの高さ等)に伴い、キャンプを受け入れる球場についても同様の整備について要望がある。事前の整備については概ね好評を得ているが、天候等によるグラウンドコンディションの変化により緊急的な整備を要する場合がある。また、日韓関係の悪化から韓国球団のキャンプがキャンセルとなった。球団側はキャンプを希望していたが、世論等の影響もあり最終的に12月の決断となったため、受け入れチームの減少の可能性が生じた。	今後のより確実な定着化を図るため、球団等のアドバイスをもらいながら必要なグラウンド整備を行い、最善の競技環境を整える。天候によるグラウンド環境の悪化については、経年による排水環境の低下を改善する必要がある。また、急遽キャンセルとなった場合において、新規チームの受け入れに向けた取り組みが必要である。

今後の取り組み方針

実際に本拠地のグラウンドを整備する業者と連携を図りながら、本拠地と同様の整備をしてもらうことで、競技環境を整え、更なる定着化を図る。天候によるグラウンド環境の悪化については、排水環境の改修等を検討する。令和元年度にキャンセルとなった韓国球団へアプローチを取りながら、状況により新規受入に向けて取り組みを進める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○随意契約で契約したが、金武町財務規則に基づいて契約締結しており、選定方法は妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○グラウンド状況により実施しなかった業務があったものの、通常であれば実施するものであり、予算規模は適正であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

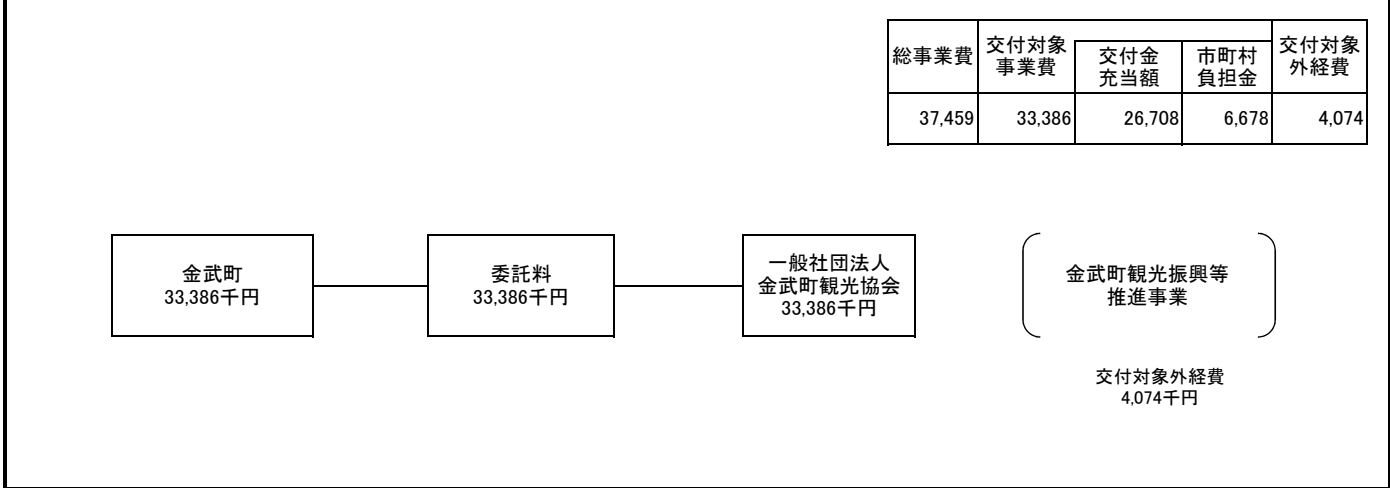
市町村名		金武町						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-③ 金武町観光振興等推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(9)-ア			
	担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	令和元～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	ものづくり産業の戦略的展開 III-1		
事業内容	観光誘客及び観光客の利便性の向上を図るため、誘客プロモーションや観光案内・誘導サインを整備する。							
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和2年度)							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a)当初予算額					46,622	
		(b)予算現額					36,317	
		(c)増減額(b-a)		0	0	0	▲10,305	0
		(d)繰越額		-				
		A.計(b+d)		0	0	0	36,317	0
	B.執行済額						37,439	
	うち交付金充当額						26,708	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	103.1%	#DIV/0!
予算の状況の説明		減額理由として観光物産展を行う際の旅費の差額分である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	地域活性化イベントの開催	目標	()	()	(開催)	()		
		実績			実施:4回			
	金武町観光物産PR等	目標	()	()	(開催)	()		
		実績			実施:5回			
	金武町観光案内サイン整備	目標	()	()	(整備)	()		
実績				完了				
達成状況説明	地域活性化イベントの来場者数は、悪天候の中に関わらず大幅に達成できた。観光・物産PRブース来場者数は、惜しくも達成できなかった。観光案内サインのアンケートは、新型コロナウイルスの影響により観光客が激減したため、アンケートを採ることができなかった。今後、観光関連イベントを行う際に来場者の観光客を対象にアンケート実施する。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	地域活性化イベント来場者数	目標	()	()	()	(6,547人)	()	
		実績				7,804人		
	観光・物産PRブース来場者数	目標	()	()	()	(3,364人)	()	
		実績				2,893人		
	【R2成果目標】 観光案内サインにより利便性が確保された(80%)を含め、観光客に対してアンケートにより本事業の在り方を検証する。		目標	()	()	()	()	
			実績					
進捗状況説明	地域活性化イベントの来場者数は、悪天候の中に関わらず大幅に達成できた。観光・物産PRブース来場者数は、惜しくも達成できなかった。観光案内サインのアンケートは、新型コロナウイルスの影響により観光客が激減したため、アンケートを採ることができなかった。今後、観光関連イベントを行う際に来場者の観光客を対象にアンケート実施する。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>県全体の観光入域者数は年々増加しており、観光需要がかなり高まっている中で、金武町としては、滞在時間を延ばす取り組みや町内への入域観光客数の増加、知名度の向上に取り組む必要性がある。</p> <p>今後、ギンバル訓練場跡地の開発に伴い、大型宿泊施設等が進出してくることから今までの通過型観光から宿泊型観光への移行にも柔軟に対応していく必要がある。</p>	<p>現在、金武町は観光地としての知名度は決して高くないため、県内・県外へガイドマップやインターネットを通じて町の観光資源を更にPRしていく事が重要となる。</p> <p>また、観光案内サインを効果的に整備し、観光客の周遊を図る。</p>

今後の取り組み方針

観光物産PR等でガイドマップの配布やインターネット、各種メディアを通じて町の観光振興を図る。
また、町の観光資源を活かせるよう効果的な観光案内サインの設置を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託の業者選定は、地方自治法施行令第167条の2第1号に基づき随意契約を交わしており、妥当であったと考えている。</p> <p>○予算規模については不用額は2,931千円であり、適正な規模であったと考えている。</p> <p>○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

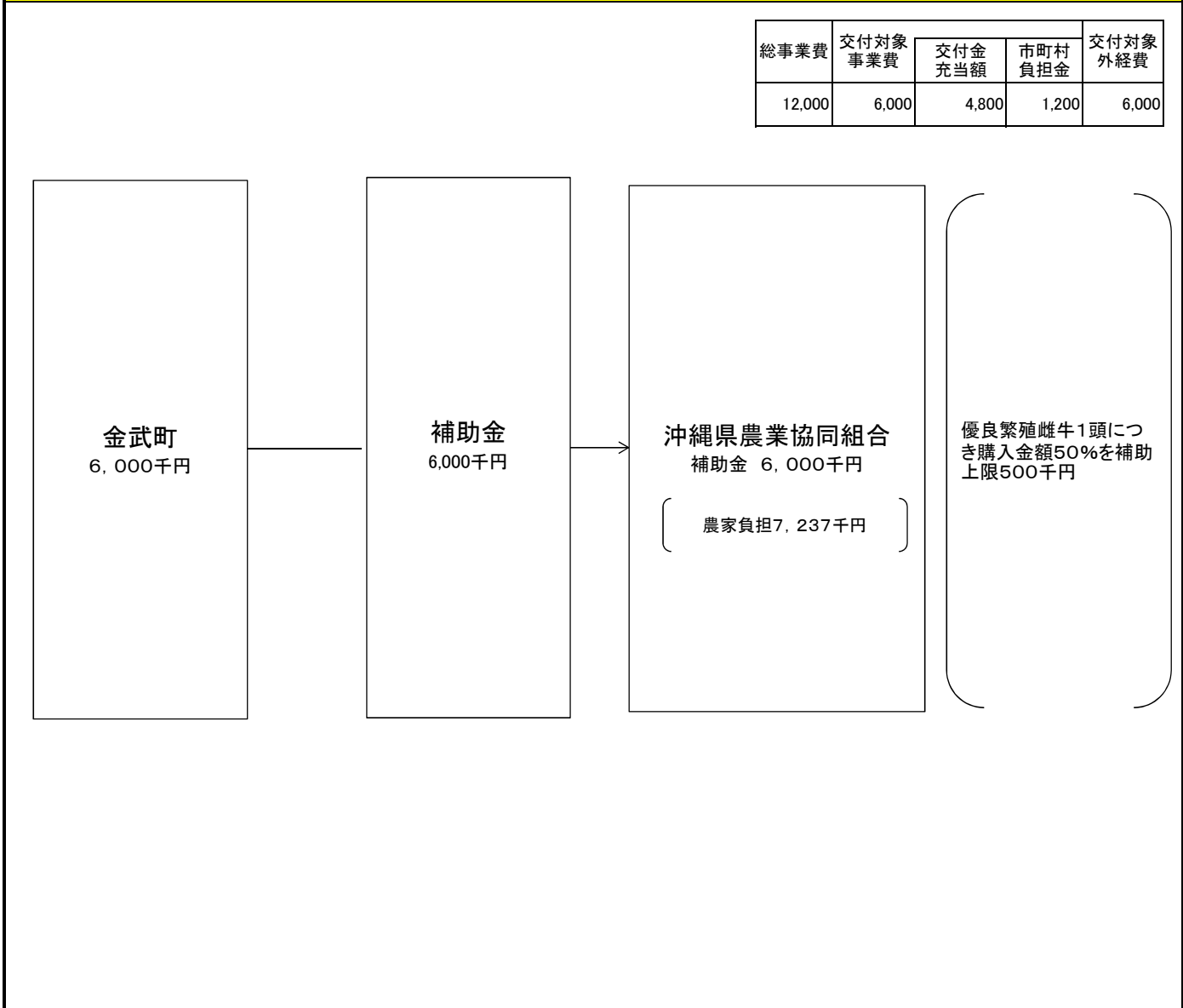
市町村名	金武町							
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-① 金武町優良繁殖雌牛導入事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備					
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成27～令和元年度 沖縄振興基本方針該当箇所					
事業内容	安定した素牛生産地の確立のため、優良繁殖雌牛の導入を支援する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,000		6,000	4,800		
		(b) 予算現額	5,789		5,653	4,800		
		(c) 増減額(b-a)	▲ 211	0	▲ 347	0	0	
		(d) 繰越額	—					
		A. 計(b+d)	5,789	0	5,653	4,800	0	
		B. 執行済額	5,789		5,653	4,800		
		うち交付金充当額	4,631		4,522	26,708		
		次年度繰越額						
		執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	100.0%	100.0%	#DIV/0!	
予算の状況の説明	計画に則った優良雌牛を導入した時点で、セリ価格等の変動により341千円の残額が発生した。意欲の高い農家と調整し、341千円を上限とした優良繁殖雌牛の追加導入を実施したことにより、100%の執行率となっている。							
活動目標(指標)及び達成状況			達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	優良繁殖雌牛の導入支援		目標	()	(優良繁殖雌牛の導入支援)	(優良繁殖雌牛の導入支援)	()	
			実績		優良繁殖雌牛の導入支援の実施	優良繁殖雌牛の導入支援の実施		
達成状況説明	県内外の家畜セリ場から優良繁殖雌牛の導入を実施した。当初の目標導入数を上回る14頭の導入を達成した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合		目標	()	()	(107%)	(約97%)	()
			実績			104%	105%	
	【参考指標】優良繁殖雌牛導入頭数(12頭)		目標	()	()	(12頭)	(12頭)	()
			実績			13頭	14頭	
	進捗状況説明	優良繁殖雌牛の産出仔平均価格とそうでない雌牛の産出仔平均価格を比較したところ、目標値を上回ることができた。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>県内外からの優良繁殖雌牛を導入する際の留意事項として、輸送時における熱中症等衰弱や死亡に留意する必要がある事から、導入時期を考慮した事業執行に取り組んだ。</p> <p>導入牛は家畜セリ市場で競り落とす方式で購入される。よって、購入金額が変動することから、補助金の残が生じることもある。このことから導入予定牛の購入期限を11月ごろに設定することにより、補助金の残が生じた際の追加購入等の協議が開催できるように取り組んだ。</p>	<p>導入時期に関しては、引き続き、夏の暑い時期を避けての導入に努める必要がある。</p> <p>導入希望農家を募る際は新規就農農家や後継者等、次世代を担う農家への配慮、理解を促す必要がある。</p> <p>補助金執行にあたっては、11月ごろまでに当初予定の導入を完了すると共に、予算残額を確認し、残額がある場合は、追加導入について農家との協議のもと円滑かつ効率的な執行が必要である。</p>

今後の取り組み方針

平成27年度より継続実施された、「金武町優良繁殖雌牛導入事業」により農家の生産基盤強化を図ることができた。今後も引き続き農家や関係機関と連携しながら、沖縄県が推奨する優良種を利活用し更なる生産基盤の確立に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の流 れ、費 目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業主体は、本事業の交付対象要件を満たす団体であり、選定は妥当であると考ええる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業実績や成果目標指数の達成状況を含め、適当な予算規模であったと考ええる。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者の負担は適当な額を負担している。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途について、補助金交付要綱に基づいて確認した結果、適正であった。

市町村名		金武町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① 金武町就職活動支援補助事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-ア			
	担当部課名	商工観光課		事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度	雇用機会の創出・拡大と求職者支援	
事業内容	<p>雇用の拡大を図るために就活支援センターを設置し、求職者への相談員による就業相談や、中小企業等に対する各種支援制度の案内、求人・求職等の情報提供を行う。</p> <p>また、将来の就労予定者である児童生徒に勤労観・職業観と、学校をはじめとする地域全体との連携を図りながら、雇用問題の解決や就業意識の向上を実施するための、キャリア教育を行う。</p>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a) 当初予算額	39,670	31,135	30,000	34,335	
	(b) 予算現額	39,670	23,555	24,800	25,725		
	(c) 増減額(b-a)	0	▲ 7,580	▲ 5,200	▲ 8,610	0	
	(d) 繰越額	—					
	A. 計(b+d)	39,670	23,555	24,800	25,725	0	
	B. 執行済額	29,572	23,500	22,053	25,205		
	うち交付金充当額	23,572	18,799	17,642	20,163		
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	74.5%	99.8%	88.9%	98.0%	#DIV/0!	
予算の状況の説明		減額理由として人件費において、事務推進員1名が2ヶ月間欠員のため、2ヶ月分の余剰及び委託料の入札残等である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	職業相談	目標	(実施)	(実施)	(実施)	()	
		実績	実施:402名	実施:325名	実施:308名		
	各種講座の開催	目標	(4講座)	(4講座)	(11講座)	()	
		実績	4講座	5講座	11講座		
	企業セミナー キャリア教育	目標	(6回・4校)	(2回・4回)	(2回・5回)	()	
実績		6回・5校	2回・6回	2回・8回			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・職業相談については、平成30年度より17名減り、308名に対して実施した。 ・各種講座と企業セミナーについては、町内求職者及び各種団体のニーズを確認しながら実施した。 ・キャリア教育については、町内全校及び各種団体に対してニーズを確認しながら実施した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
		就業率10.7%	目標	()	()	(10.7%)	(10.7%)
		実績			10.8%	7.5%	
	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	()	(80%)	(80%)	()
		実績			94.6%	95.9%	
	【参考指標】 就業者目標数	目標	()	()	(10名)	()	()
		実績			24名		
進捗状況説明	<p>就業率については、企業へ求職者の斡旋等を実施したが、企業と求職者のマッチングがうまくいかず就職に至らなかったケースが多々あった。今後は、マッチングができるよう相談、面談等を引き続き実施する。</p> <p>キャリア教育については、各学校等と連携した結果、達成率95.9%であり、児童生徒が働くことへの関心が高まったと考えられる。</p>						

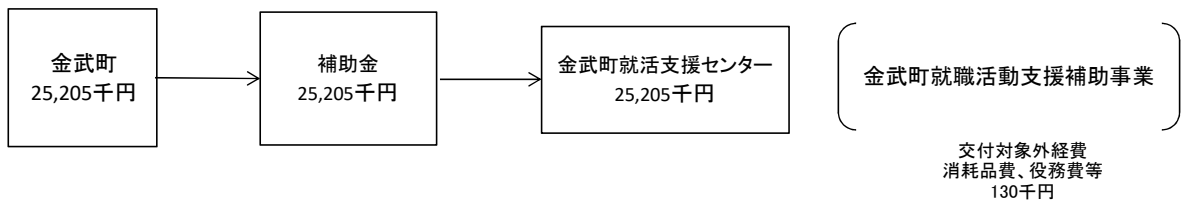
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>昨年末から新型コロナウイルス感染症の影響により、社会情勢が大きく変化してきている。雇用情勢についても、解雇等が増加していきおり雇用拡大を図る必要が一層強くなっている。この状況を踏まえ、就職活動の支援を継続的に推進し、求職者の就職につながる実用性の高い講座の開設に取り組む必要がある。</p> <p>キャリア教育については、児童生徒が自らの将来を考える上で、働くことへの興味・関心、将来を計画的に取り組む態度を育成する必要がある。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症により、年度末にかけて少しずつ解雇等の相談が増えてきている。そこで、感染症対策を考慮しながら、実用性の高い講座及び企業と求職者のマッチングがうまくように面接相談等を引き続き実施し、町内雇用の拡大に努める。</p> <p>また、キャリア教育についても、感染症対策を考慮しながら、児童生徒の学ぶ機会を損なわないよう実施していくとともに、児童生徒が町内従事者並びに新たな職業の可能性を探ることが、より一層大事であると考えられる。</p>

今後の取り組み方針

新型コロナウイルス感染症による解雇等の相談が少しずつ増えてきていることから、就職に必要な資格取得のための各種講座を開催し、雇用機会の増大を図る。キャリア教育については、引き続き学校及び各種団体等と連携し、先進的・効果的な取り組みをすることで児童生徒が働くことへの興味・関心を促すことに繋げる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
25,334	25,205	20,163	5,042	130



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金等の適正化に関する条例及び団体補助金交付規則に基づき適正に選定した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○年度当初から1名推進員の確保ができず、不用額が発生したが、予算規模は適正と判断している。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのかどうかを事業途中や事業完了の際に、その都度運営者との間で協議し、適正であると判断している。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	小中学校学習等支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア		
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	町内の小中学校へ 外国人英語指導助手・日本人英語指導員・英語コーディネーターを配置し、外国語の音声や基本的な表現能力の育成として英語教育の充実を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	18,760	21,840	21,840	21,840	
		(b) 予算現額	18,528	21,840	21,840	21,840	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 232	0	0	0	
		(d) 繰越額	—				
	A. 計(b+d)		18,528	21,840	21,840	21,840	
	B. 執行済額		18,371	21,172	21,059	21,197	
	うち交付金充当額		14,822	16,937	19,847	21,197	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		99.2%	96.9%	96.4%	97.1%	
予算の状況の説明		・不用額については、欠勤による減額が主である。配置についてはすべて実施できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	日本人英語指導員配置数	目標	(小学校:2人)	(小学校:2人)	(小学校:2人)	()	
		実績	小学校:2人	小学校:2人	小学校:2人		
	外国人英語指導助手配置数	目標	(小学校:2人 中学校:2人)	(小学校:2人 中学校:2人)	(小学校:2人 中学校:2人)	()	
		実績	小学校:2人 中学校:2人	小学校:2人 中学校:2人	小学校:2人 中学校:2人		
	英語コーディネーター	目標	(教育委員会:1人)	(教育委員会:1人)	(教育委員会:1人)	()	
実績		教育委員会:1人	教育委員会:1人	教育委員会:1人			
達成状況説明	・町内小中学校に日本人英語指導員2人、外国人英語指導助手4人、英語コーディネーター1人、合計7人を配置し、外国語の発音や基礎的な表現能力の育成を図ることができた。また、児童・生徒とコミュニケーションをとりながら異文化に対する興味・関心を引き出すことができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	(小学校) 「英検Jr.検定」において学習意欲を持たせる「正答率」が平均84.5%以上。	目標	()	()	()	(平均正答率84.5%以上)	()
		実績				80.3%	
	(中学校) 英語検定3級において、校内受験者数の合格率26%以上。	目標	()	(合格率-27%以上)	(合格率-23.5%以上)	(合格率26%以上)	()
		実績		28%	22.3%	44.4%	
進捗状況説明	・小学校で行っている「英検Jr.検定」において、正答率が80.3%となり、目標であった84.5%には届かず目標未達成となった。中学校においては、英語検定3級において、目標に掲げている合格率26%以上を大きく上回る45.3%となり目標を達成できた。小・中学校ともに、検定を受ける児童・生徒の数も増加傾向に有り、英語に対する意識が高まってきている状況である。						

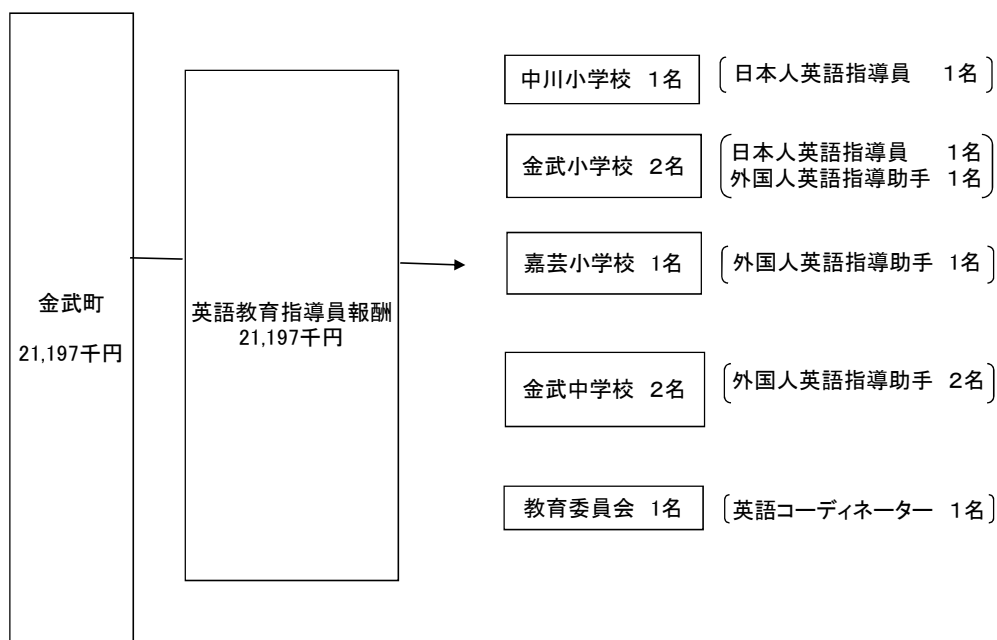
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・小学校での「英検Jr.検定」及び中学校での「英語検定」では、目標を達成又は目標達成率に近づいており、英語を学ぶということに児童・生徒の意欲を感じとることができる。英語コーディネーターを中心に小・中学校の連携を図り、英語の苦手な児童・生徒に対しては授業の中で継続的なサポートを行い、全体の学習意欲を高めるよう、授業方法、教材等を工夫し指導を行う必要がある。</p>	<p>・各学校のALT及びJTEとの打ち合わせが、十分に行えない中での授業になっているため、授業の進め方や内容も学校に任せきりの部分が出ている。英語コーディネーターを中心に、指導者も研修等を行い、全体的なカリキュラムの見直しを行いながら授業の改善に繋がるよう努める。保護者及び児童・生徒も英語教育へ関心が高まる中、国際性に富んだ人材育成の土台作りが行えるよう小・中学校で連携を図りながらこども達が興味を持つ授業ができるよう工夫を図る。</p>

今後の取り組み方針

英語コーディネーターを中心に経験豊富なALT及びJTEの授業案を取りまとめる連絡会や研修等の回数を増やししながら、小・中学校での授業に活かしたい。また、指標として掲げている数値を達成できるよう、児童・生徒への検定への興味を促せるよう今後も努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
21,197	21,197	16,957	4,240	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先、費目・使途については、金武町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例等に基づき支援員の任用、報酬の支出をしており、妥当なものと考えている。 ○予算規模については、ほぼ見込みどおりの執行額であり、事業内容に見合った適正な規模である。 ○費目、使途については目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-② 幼稚園預かり保育事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 第3章-5-(1)-ア 地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成					
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度 平成24～令和3年度 沖縄振興基本方針 該当箇所 III-3					
事業内容	保護者の育児における負担の軽減を図るため、預かり保育を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,008	12,017	3,140	3,140	
		(b) 予算現額	3,925	12,017	3,157	3,140	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 2,083	0	17	0	0
		(d) 繰越額	—				
		A. 計(b+d)	3,925	12,017	3,157	3,140	0
		B. 執行済額	3,925	10,659	3,147	2,518	
		うち交付金充当額	3,140	8,526	2,517	2,014	
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	100.0%	88.7%	99.7%	80.2%	#DIV/0!
予算の状況の説明		年度の途中に支援員の増員があり総事業費の増額があった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	預かり保育希望園児の受入	目標	()	(8人)	(8人)	()	
		実績		6人	8人		
	【参考指標】 預かり保育実施幼稚園:3園	目標	(3園)	()	()	()	
		実績	3園				
	【参考指標】 預かり保育嘱託職員配置数:6人	目標	(6人)	()	()	()	
実績		6人					
達成状況説明	目標として掲げた8人の園児を受け入れることが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	()	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績			90.0%	100%	
	【参考指標】 預かり保育内容にかかる幼児教育の成果について保護者へのアンケートを実施目標:「子育て環境における満足度90%」以上	目標	()	(90%以上)	()	()	()
		実績		98%			
進捗状況説明	○同事業を実施することにより育児の負担感が軽減されたと感じた保護者が100%となっており、今後も保護者や意見や委託先との連携により保育の充実を図りたい。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○アンケートにおいて、目標以上の満足度を達成しており、保護者の育児における負担の軽減が図られていると考える。</p> <p>○長期休業期間では1日保育を実施するため、2人体制では厳しい旨の現場からの意見があったが、4人に増員しシフト制で子どもたちを預かることが出来た。</p>	<p>○引き続き保育指導員の確保、子どもたちの利用状況やそれに伴う指導員の時間配置など鑑み勤務体制の工夫は必要となってくる。</p>
今後の取り組み方針		
○委託先である中川区と連携しながら、指導員の確保、勤務体制等の更なる充実に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,630</td> <td>2,518</td> <td>2,014</td> <td>504</td> <td>2,112</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,630	2,518	2,014	504	2,112	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,630	2,518	2,014	504	2,112										
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 金武町教育委員会 4,630千円 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 委託料 4,630千円 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 中川区長 4,630千円 </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> 指導員賃金、消耗品等 </div> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> 交付対象外経費 2,112千円 </div> </div>											
資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先、費目・用途については、妥当であったと考えている。</p> <p>○予算規模において、事業内容に見合った適正な規模である。</p>											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。													

市町村名		金武町						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-③ 特別支援教育支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ			
	担当部課名	学校教育課			事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		
		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)					
事業内容	町内各小中学校において支援を必要とする児童生徒に対し、特別支援教育支援員を配置し、学級担任と連携して適切な特別支援教育を行う。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	58,081	58,081	38,053	36,050		
		(b) 予算現額	58,081	58,070	31,108	36,050		
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 11	▲ 6,945	0	0	
		(d) 繰越額	—					
	A. 計(b+d)		58,081	58,070	31,108	36,050	0	
	B. 執行済額		54,688	45,692	31,108	31,151		
	うち交付金充当額		43,750	36,553	24,886	24,920		
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		94.2%	78.7%	100.0%	86.4%	#DIV/0!	
予算の状況の説明		・当初予定であった16名を配置し、予算執行した。不用額については欠勤による減額分が主なものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	特別支援教育支援員配置数 小学校:13人 中学校:5人		目標 (幼稚園5人 小学校14人 中学校6人)	(小学校13人 中学校5人)	(幼稚園1人 小学校11人 中学校4人)	()		
			実績 幼稚園5人 小学校14人 中学校6人	小学校13人 中学校5人	(幼稚園1人 小学校11人 中学校4人)			
達成状況説明	・町内幼稚園に1人、小学校に11人、中学校に4人、計16人の特別支援教育支援員を配置し、必要な支援を行った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員を配置したことにより学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。		目標	()	()	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績			86%	81%	
	【参考指標】 学校評価における、特別支援教育に関する項目について、目標「支援を要する幼児児童生徒に対し、適切な支援が行われていると感じる」評価3以上(4段階評価)		目標	()	(3以上)	()	()	()
実績				3.5%				
進捗状況説明	町内各小学校において必要に応じ特別支援教育支援員を配置することができた。保護者へのアンケートでは、81%が学校生活や学習上の困難が改善されたと回答があり、目標を達成した。							

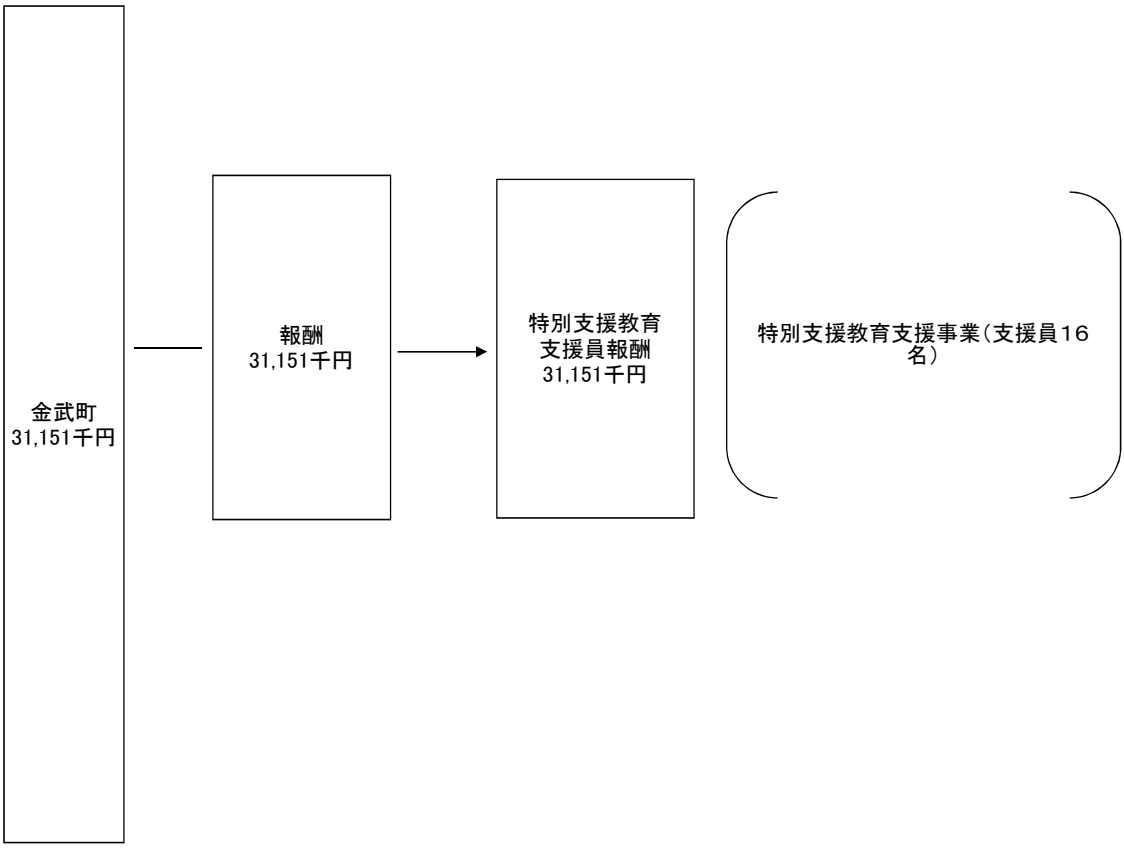
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・各学校へ配置されている特別支援教育支援員について、保護者対象にアンケートを行ったところ、支援員にはほとんどの保護者が理解を示していた。その一方で、支援の内容や支援員が年々変わることによる不満を訴える意見もあった。</p>	<p>・保護者が抱える悩みを、委員会配属の「特別支援教育推進員」を中心に担任や保護者が密に連携をとり、更に理解を得ることが必要である。そのために、特別支援教育支援員の業務の周知方法を検討していく。また、人材不足により、支援員の確保が課題となってくるが、児童・生徒一人ひとりに寄り添ったサポートができるよう委員会でも検討していく。</p>

今後の取り組み方針

・対象児童・生徒の背景を理解しつつ、保護者と学校現場が密に連携が図れるよう、推進員を中心に丁寧なサポートを心がける。そのためにも、支援員についての活動内容をもっと保護者にわかりやすい形で周知し、また、支援員の質の向上の為の研修等を積極的に行っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
31,151	31,151	24,920	6,231	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先、費目・用途については、金武町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等に基づき支援員の任用、報酬の支出をしており、妥当なものと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、支援を必要とする幼児・児童・生徒数から鑑みて、事業内容に見合った適正な規模である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については積算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	金武町海外移住者子弟等研修生受入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(1)-ア		
担当部課名	企画課	事業実施(予定)年度	平成29～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際ネットワークの形成と多様な交流の推進 III-7		
事業内容	<p>本町と海外移住国との友好親善及び人材育成に資することを目的に、海外移住者子弟等研修生の受け入れを実施する。研修期間は、8月から12月までの約4カ月間で、語学研修をはじめ研修生が希望または専門とする研修のほか、琉球舞踊や三線など、沖縄の伝統芸能について理解を深め習得を目指し沖縄文化教養研修を行う。</p>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,562	5,470	6,194		
		(b) 予算現額	5,562	5,470	2,732		
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 3,462	0	0
		(d) 繰越額	—				
	A. 計(b+d)		5,562	5,470	2,732	0	0
	B. 執行済額		4,838	5,244	2,732		
	うち交付金充当額		3,870	4,195	2,185		
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		87.0%	95.9%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		当初、3名の研修生を受け入れる予定であったが、うち1名が家庭の事情により来町できず、2名の受け入れとなった。また、研修期間中に1名が病気により一時帰国したことから当初予算額と執行済額に差額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	受入人数:3人	目標	(6人)	(3人)	(3人)	()	
		実績	3人	3人	2人		
	研修期間:約4ヶ月	目標	(4ヶ月)	(4ヶ月)	(4ヶ月)	()	
		実績	4ヶ月	4ヶ月	4ヶ月		
研修報告(閉講式):1回	目標	(1回)	(1回)	(1回)	()		
	実績	1回	1回	1回			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 受入人数について、当初3人であったが、入国前に内1名が本人及び家族の緊急的な問題で研修をキャンセルしたことにより、2人の受け入れとなった。 研修期間中、受け入れた内の1名が体調面で突発的な問題が生じ一時帰国となったが、その後無事研修に戻り修了することができた。 研修報告については、問題なく実施することができた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	受け入れた研修生へのアンケートで、沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。		目標	()	()	(80%)	(80%)
		実績			100%	100%	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果から、研修に満足しているとの回答が得られ、興味を持った、帰国後に役に立つなど好評の回答であったことから、研修生の理解を深めるとともに意識の向上に繋がった。 						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	アンケートの回答結果等から、研修生は研修内容において全体的に満足していることが高いため、沖縄の文化や歴史により興味を持った、また、文化や歴史についての理解度及び更に学びたいという意識の向上に繋がったと考える。今後、以下のような課題がみられると考える。 ・研修生のほとんどが3世以上であることから、日本語力の課題がある。研修に来る前のある程度の日本語力があれば、研修においても更なる向上が期待できる。 ・入国まで及び入国後に体調面等に問題が生じないかなどの課題がある。	・研修前の日本語力については、各国町人会において日本語をはじめ、事前勉強会などを実施できるかどうかを検討したい。また、入国後の日本語力向上に向けて、研修生同士の会話や日本語研修以外の場や交流においても積極的に日本語を話すよう心がける。 ・推薦する際に健康診断書の提出を行っているが、その後入国するまで研修生の様子について、体調面に問題がないか、生活面において不安等はないか、事前に町人会及び研修生本人と密に連絡を図る。

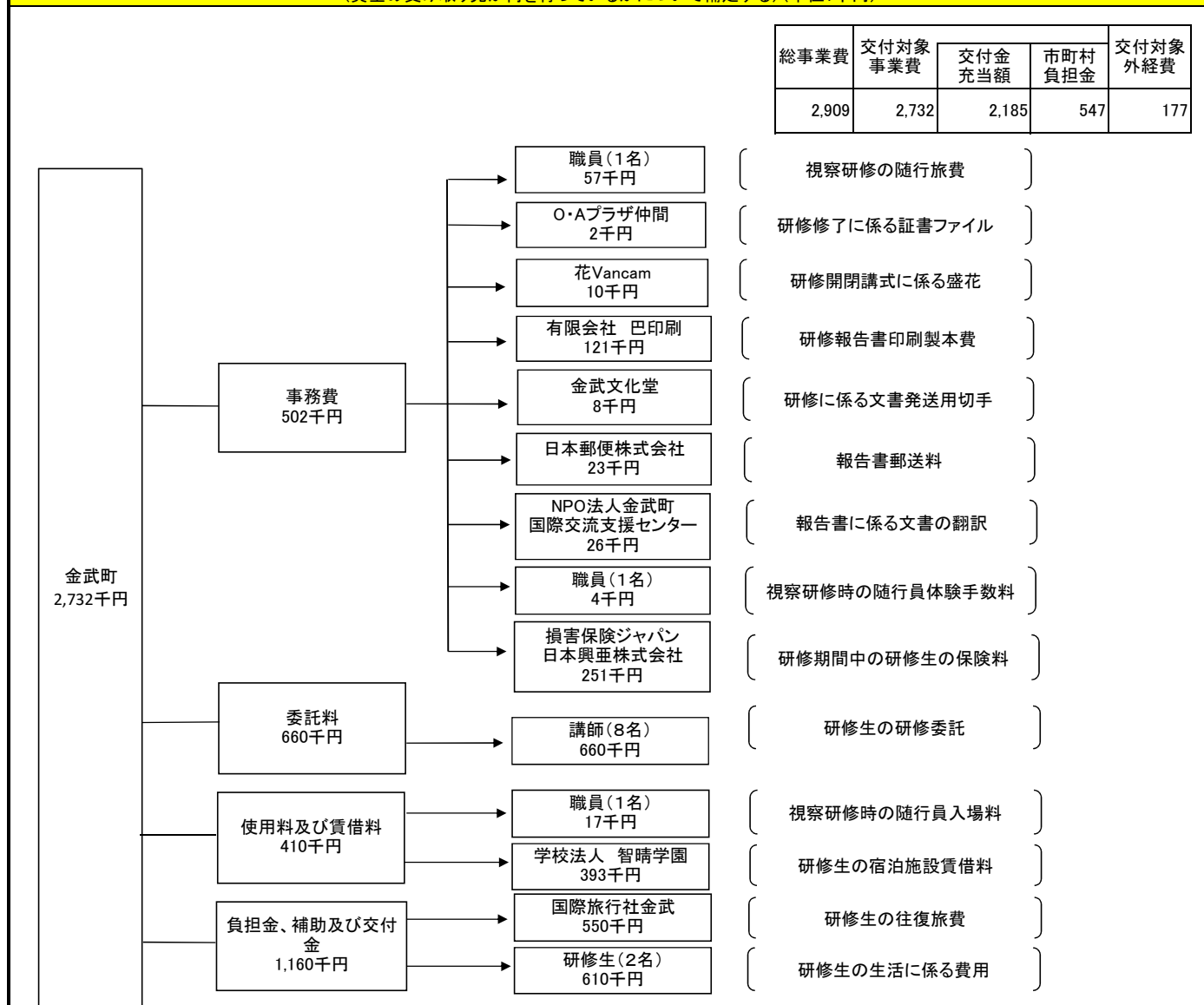
今後の取り組み方針

・研修生が積極的に日本語を話そう、各課研修や町内研修及び交流の場を設けるなど積極的に環境づくりを行う。また、母国を出国するまでの日本語学習、町人会協力のもとで簡単な挨拶や会話等の日本語力をつけることで、研修開始後における研修内容の理解度、コミュニケーション力の向上に繋げる。

・研修生として決定後から母国出国までの期間、また約4ヶ月の研修期間中で体調における問題やその他が生じることがないことが推薦上で前提条件であるが、決定後も研修生本人との連絡を密に行うとともに町会とも連携を図ることで、研修生の状況を把握し不安を取り除くことができると考える。また、研修生として決定された時点で、研修生であることの自覚意識を高める。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 使途の 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・各国町人会からの推薦に基づき研修生を決定しているため、妥当だったと考える。 ・予算規模は、研修期間及び人数に対して、適正な規模だったと考える。 ・研修以外の経費については、研修生負担であり妥当だった。 ・費目・使途については、目的に即した費用であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		金武町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-② 金武町移民の日記念事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(1)-ア		
	担当部署名	企画課	事業実施(予定)年度	平成29～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際ネットワークの形成と多様な交流の推進 Ⅲ-7	
事業内容	12月5日の「金武町移民の日」に、第1回移民を送り出した本町出身の當山久三の偉業をたたえ、顕彰するとともに、その功績を広く周知し、次世代の人材育成を目的とした公演、移民関係の展示を実施した。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,472	9,142	3,548		
		(b) 予算現額	2,755	5,924	3,548		
		(c) 増減額(b-a)	1,283	▲ 3,218	0	0	0
		(d) 繰越額	—				
	A. 計(b+d)		2,755	5,924	3,548	0	0
	B. 執行済額		2,338	5,924	2,702		
	うち交付金充当額		1,870	4,739	2,101		
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		84.9%	100.0%	76.2%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		予算額の残については、当初計画の委託業務一部取り止め、報償費及び需用費の執行残、委託料の入札残等に伴うものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	・顕彰式の実施 ・移民関連の学習会 ・公演等の実施	目標	()	()	()	()	
		実績		・顕彰式の実施 ・移民関連の学習会 ・公演等の実施	・顕彰式の実施 ・移民関連の学習会 ・公演等の実施		
	【参考指標】 移民関連の学習会・公演等の実施		目標	(1回)	()	()	()
達成状況説明		<p>沖縄県内他市町村で受け入れている海外移住者子弟研修生と、沖縄移民について学び、本町の偉人である當山久三が沖縄から初めて移民を送り出したことについて、當山記念館等の移民関連の地を巡る町内フィールドワーク学習会を実施した。</p> <p>12月5日の金武町移民の日記念事業においては、當山久三顕彰式、移民関連資料の展示、南米料理試食会、海外移住者子弟等研修生の成果報告、ハワイ移民の歴史に関するオリジナル演劇を通し、本町と海外移民の深い繋がりについて広く周知する事が出来た。</p>					
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	○参加者に対するアンケートで、移民の歴史に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	()	(80%)	(80%)	()
		実績			100%	94.3	
	移民の日関連事業参加者数:550人	目標	()	()		(550人)	()
		実績				561人	
進捗状況説明		当初計画とおりの日程で、顕彰式及び移民の日記念事業を実施し、参加者アンケートを実施する事で本事業に対する評価を確認した。成果目標として掲げている「移民の歴史についての理解が深まったか」については目標数値を達成出来ている事が確認出来る。					

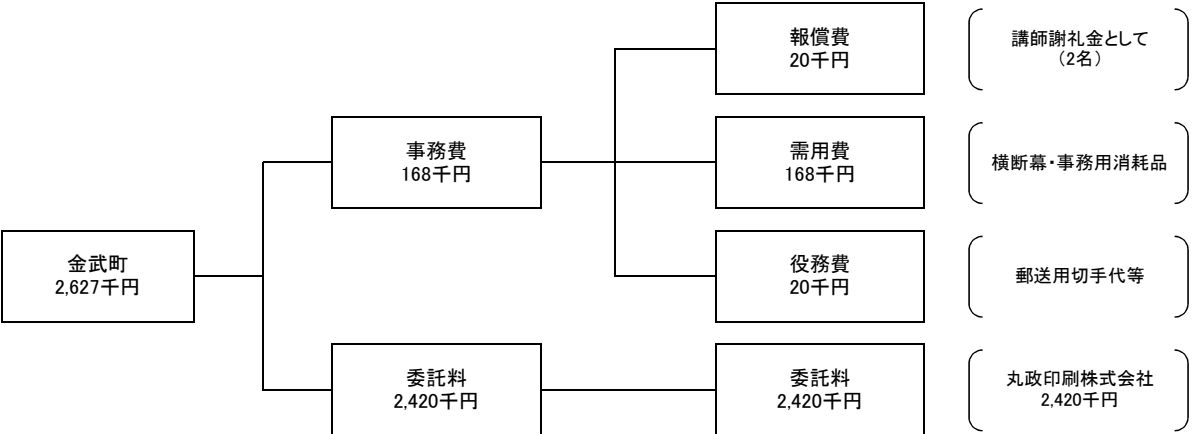
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・町内学生の参加率が明らかに低い。原因としては開催時間帯が学生に合っていないと考えられる。 ・本事業は、當山久三顕彰式と記念公演の二部構成のイメージで実施しているが、近年、公演内容が定番化しつつある為、理解度が伸び悩んでいる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際感覚豊かな人材育成を推進していくという観点から、町内学生の参加しやすい開催時間帯の変更等の検討が必要と考える。 ・今後は変化をつけながら、よりわかりやすい公演内容を考え、継続実施する必要がある。

今後の取り組み方針

・町内学生の参加率を向上する為に、次年度はメインターゲットを町内学生に設定し、開催時間を早める事で学校の課外事業として参加して頂く事が出来るよう、学校側と連合して取り組んでいく。また、例年実施してきた二部構成を再考し、対象者からのニーズを確認しながら内容を構成していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
2,702	2,684	2,101	671	18



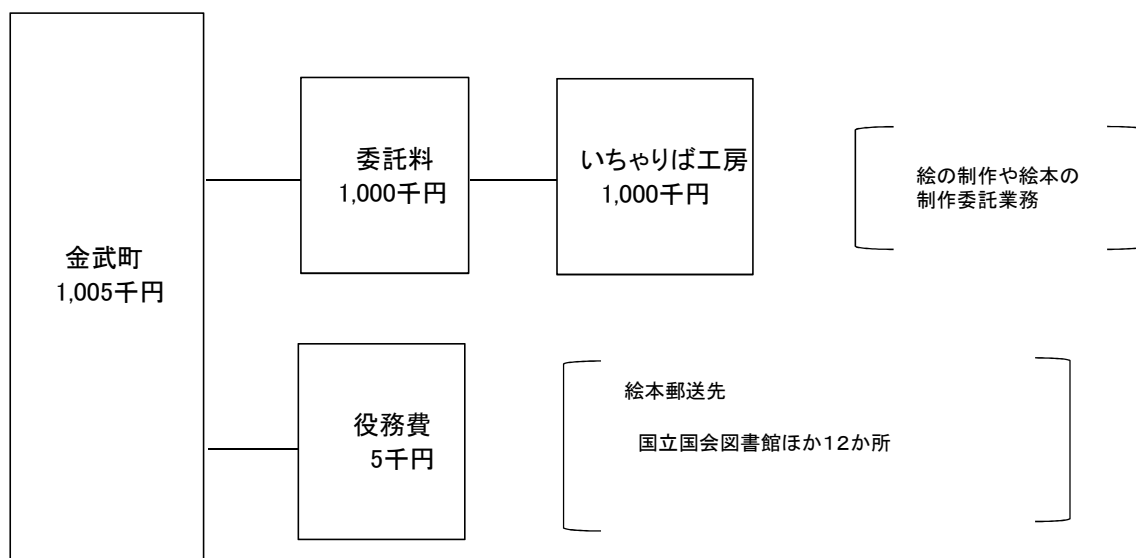
	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目、用途の点検評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、指名構想入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○事業の実施内容の変更により執行状況が約76%となっているが、集客人数や参加者アンケート結果から本事業に対する満足度は十分に得られている事から、実施に対する予算規模は適正だと考えている。 ○費用や用途については、精算段階で検査をしており、目的に即し必要なものであったと認識している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-① 「金武町の偉人及び民話」絵本化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア		
担当部署名	金武町教育委員会 社会教育課	事業実施 (予定)年度	平成29～令和元年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる 環境づくり Ⅲ-3-(2)		
事業内容	金武町の民話を絵本化することで、後世に町の歴史や文化を継承するとともに、島くとうばの保存継承を図る。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(R2年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額		1,012	1,036	1,005	
		(b) 予算現額		1,015	1,016	1,005	
		(c) 増減額(b-a)	0	3	▲ 20	0	0
		(d) 繰越額	—				
		A. 計(b+d)	0	1,015	1,016	1,005	0
		B. 執行済額		1,015	1,016	1,004	
		うち交付金充当額		811	812	803	
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	#DIV/0!	100.0%	100.0%	99.9%	#DIV/0!
予算の状況の説明	予算の範囲内で適正に執行した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	町内こども園等7冊、町内幼稚園・学校全クラス63冊、各地区公民館15冊、県内公共図書館39冊、国立国会図書館2冊、その他44冊	目標	(100%)	(100%)	(100%)	()	
		実績	100%	100%	100%		
達成状況説明	民話絵本を170冊発刊し、町内小学校全クラス、各区公民館、県内各公共図書館等へ合計150冊を寄贈した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値 (年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値 (年度)	
	配布した各施設において絵本の供用を行う。	目標	()	(100%)	(100%)	(100%)	()
		実績		100%	100%	100%	
	【参考指標】 町内の各小学校で理解度アンケートを実施	目標	()	(70%)	()	()	()
		実績		85.8%			
	町内小学校の4年生から6年生へのアンケートで、絵本の内容について理解できたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	()	(50%)	(80%)	()
		実績			91%	未実施	
進捗状況説明	町内各小学校で民話絵本の読み聞かせを予定していたが、新型コロナウイルスの影響により実施することができなかった。今後、音声データ等を活用した読み聞かせを行い、R2年度アンケートを実施する。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	学校での読み聞かせを予定していたが、新型コロナウイルスの影響により実施することができなかった。今後、読み聞かせの方法を工夫する必要がある。	読み聞かせで活用できるよう、音声データの作成を検討する。
今後の取り組み方針		
希望者には絵本と音声データを貸出すなど、すべての子ども達があらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動ができるよう読書環境を整える。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,005	1,005	804	201	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者はこれまでも絵本制作の実績があり、親しみ溢れる絵は子どもからお年寄りまで大変好評であり、絵本の制作技術も高く妥当である。 ○不用額等もなく適正な予算規模である。 ○事業目的を達成するための必要経費に限定しており、適正である。
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	